

ステークホルダーとのコミュニケーション

日本機械学会北信越支部 オンライン特別講演

「社会インフラに貢献する新潟県の機械学会表彰技術・製品」と題して、2020年12月15日(火)に行われた日本機械学会北信越支部様主催のオンライン特別講演会で、以下2件の講演を行いました。

(1) CNT-3000EA / CNT-6000EN型

非常用ガスタービン発電装置

〈2015年度本会優秀製品賞受賞〉

(2) IHI原動機のカスタム事業紹介

～夢を実現、そして未来へ～

主要な聴講者が新潟大学の工学部学生ということから、将来有望な学生に向けて、大学で講義される機械力学等が、実際の社会においてどのように製品に活かされるのか、といった視点を交えながら、お話ししました。

また、同時にIHIグループの新潟トランスより、2019年に北信越支部技術賞を受賞された北陸新幹線の軌道用除雪車「MCR801」の開発及び事業紹介の講

演も行われ、合わせて90分のオンライン特別講演会となりました。

講演1の非常用ガスタービン発電装置は、近年増えている自然災害による停電リスクに備えたバックアップ電源用として、公共施設やデータセンター向けなどに年々生産が増えていること、講演2の事業紹介では、当社で世界初、世界最大を冠する製品をリリースしてきた歴史、そして今後もそのスピリッツを維持し挑戦し続けていく姿勢について、お伝えしました。

聴講者は大学2～3年生を中心に約100名で、講演後に大学の先生からは、好評であったとお言葉をいただいております。

IHI原動機では、持続可能な社会の実現が求められる昨今、技術をもって、ニーズに合わせた安全、安心で性能のよい製品を開発し、社会に還元していけるよう取り組んでまいります。

非常用ガスタービン発電装置 講演資料より



IHI原動機のカスタム事業紹介 講演資料より



富山高等専門学校学生インターンシップ受入

2020年9月7日～9月11日の5日間、新潟鑄造工場および新潟内燃機工場において、富山高等専門学校商船学科の学生1名によるインターンシップを受け入れました。

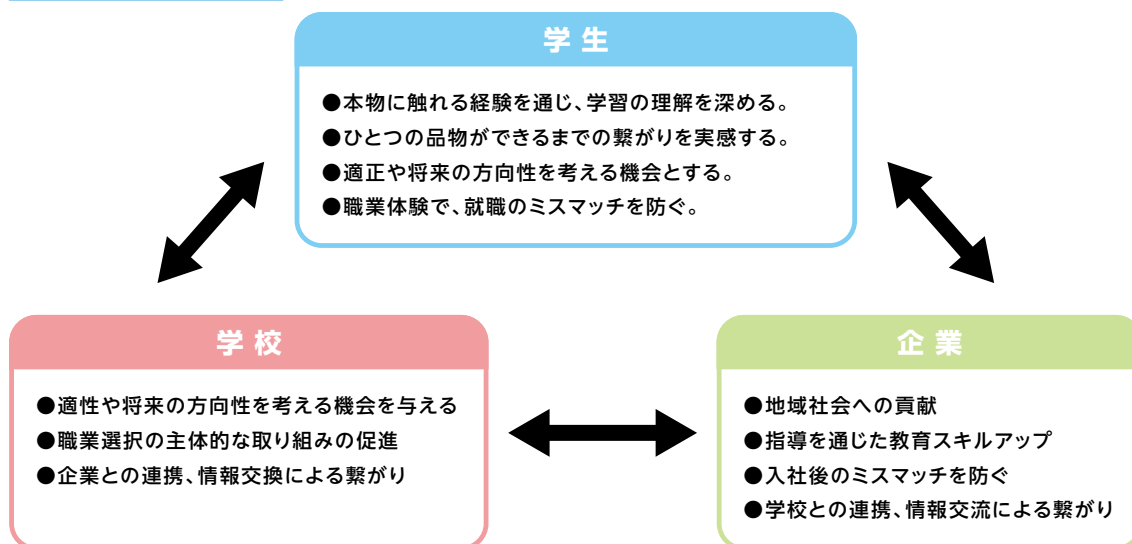
これは、同校のカリキュラムの一環で、就業体験を通じ、学んだことがどのように活かされているかを知ることと、自らの適性や将来の方向性を考える機会とすることを目的とした活動になります。

同校の実習船「若潮丸」に当社機関が搭載されているご縁からお話をいただき、この経験が、将来を決める役に立てればとの思いから実施の運びとなりました。

学生自身が専攻する分野について広く浅くの内容ですが、モノづくりの現場を間近に見ることでの発見や、本物に触れることで感じる面白さ、迫力を体感いただけたと思います。受け入れ職場においても短期間で理解いただく指導機会を持つことで、安全に配慮した働き方の工夫や、教育のスキルアップにもつながり相互に大変有意義な活動となりました。

今後も就職を考え始める学生の方々へ就労体験の場を提供する社会貢献活動としてインターンシップを受け入れていきます。

インターンシップの目的



インターンシップの内容

- ① 安全教育
- ② 鑄物部品の製造、機械加工、組立、検査、試運転までの工程見学
- ③ 間接部門の職場体験（整備、品質管理、部品管理）

e-Parts「電子パーツカタログ」の展開

当社の製品（ディーゼルエンジン、ガスエンジン・Z形推進装置）を搭載した船舶、およそ6千隻が地球規模で稼働しており、それらの製品は長いものでは半世紀を超えて使用されます。

製品のライフサイクルに亘り、お客さまの船舶ビジネスを支えるためには、交換部品やメンテナンスなどのアフターサービスの価値提供が重要事項となっています。

これらサービス提供を合理的に解決するため、DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用して、海外代理店、お客さまと製品・稼働データを共有して「顧客起点型」のビジネスモデルへの変革を進めています。

一方、これまでの部品販売では、本体製品出荷時に同梱した“紙の型式別標準パーツカタログ”を頼りにメール・電話・FAXで交換部品の注文を受けていたため、部品の特定に時間を要していました。

これは、代理店がお客さまから注文を受けて販売する方式のため、バケツリレー方式となり、ここにも時間のロスが生じていました。

そのような状況下、当社の内部プロジェクトとして「電子パーツカタログ立ち上げ横通しプロジェクト」（2014年12月～2015年10月）と「電子パーツカタログ発展ワーキンググループ」（2015年11月～2019年8月）を立ち上げ、製造番号別電子パーツカタログの制作とe-コマース化（商用化）に取り組んできておりましたが、2020年9月、電子パーツカタログをe-Partsと命名し、

海外の最終需要者様にポータルサイトOwners' NET経由で当該e-Partsを公開し、部品販売の完全商用化に向けた取り組みを開始しました。

この新しいビジネスモデルでは、お客さまが必要な部品をすぐに購入できるよう、“製造番号別に調製した3D電子パーツカタログ”（e-Parts）を中心としたe-コマース化へシフトしていきます。

e-Partsからの注文あるいは引き合いは、海外代理店とも同時共有されるため、即時性が格段に高まり、顧客満足度の向上にも寄与するものと期待されています。

また、近年の新型コロナウイルスの蔓延により、人の交流機会が激減する環境下、部品販売のe-コマース化は有効な営業、販売手段と考えています。

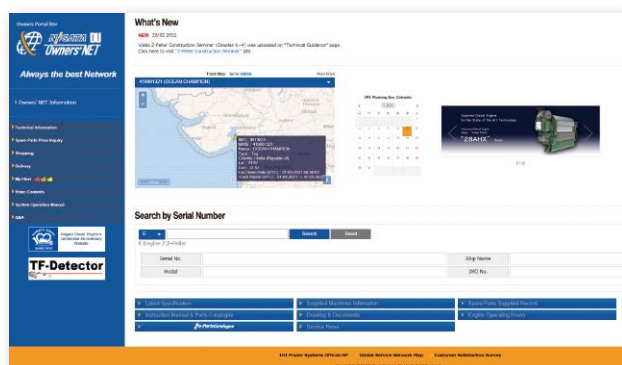
最後に本活動によるESG/SDGsに関しての影響度に関する報告です。

模倣（海賊）品がアジア諸国を中心として流通、使用の実態が報告されており、当社製品用部品の海賊品も横行しています。

主要な模倣品は、燃焼及び燃料噴射に関わる部品が多くを占めていますが、純正品と比べて機械加工精度が劣るため燃費とエミッションの悪化を招いています。

このため、純正部品の購入を促進する本取り組みを推進することで、航行中の機関不具合発生による海難事故防止と乗組員の安全確保、及び排ガス規制遵守や温暖化ガスの排出削減に寄与しています。

Owners' NET



e-Parts（電子パーツカタログ）

